中学歴史プリント（基礎確認）
弥生時代 No.6

名前

得点 ／15

1回目　2回目

1 「漢委奴国王」と刻まれた金印が発見された、福岡県にある場所はどこ？
① 対馬　② 壱岐　③ 種子島　④ 志賀島

2 邪馬台国の卑弥呼が魏の皇帝から贈り物を受けた様子など、当時の日本の様子が詳しく記されている中国の歴史書を何という？
① 魏志倭人伝　② 日本書紀　③ 風土記　④ 古事記

3 奴国からの使節の来訪や金印の授与についての記述がある、中国の歴史書を何という？
① 古事記　② 魏志倭人伝　③ 後漢書　④ 日本書紀

4 弥生時代に祭礼の道具として用いられ、指導者の地位の高さを示す象徴となった釣鐘状の青銅器を何という？
① 銅矛　② 銅鐸　③ 鏡　④ 銅剣

5 『後漢書』東夷伝などの歴史書において、弥生時代の日本列島に多数存在していたとされる政治的なまとまりを何という？
① 倭国　② 邪馬台国　③ 奴国　④ 小国

6 佐賀県に位置し、環濠集落の中でも大規模で、高床倉庫や物見やぐらが復元されていることで知られる遺跡は何という？
① 菜畑遺跡　② 唐古・鍵遺跡　③ 吉野ヶ里遺跡　④ 登呂遺跡

7 銅鐸が主な役割として使われた、豊作を祈るなどの行事を何という？
① 祭り　② 戦い　③ 狩り　④ 交易

8 弥生時代の日本が、中国の王朝へ進んだ文化や権威を求めて使者を送り、贈り物や献上品を送る外交形式を何という？
① 遣唐使　② 朝貢　③ 冊封　④ 大化の改新

9 弥生時代に大陸から伝わった金属器のうち、農具や武器として実用的に使われたものを何という？
① 土器　② 石器　③ 鉄器　④ 青銅器

10 3世紀頃、邪馬台国を治め、中国の魏に使者を送ったとされる女王は誰？
① 卑弥呼　② 推古天皇　③ 神武天皇　④ 聖徳太子

11 佐賀県にあり、周囲に濠（ほり）を巡らせた弥生時代の集落跡として知られる代表的な遺跡を何という？
① 三内丸山遺跡　② 大森貝塚　③ 登呂遺跡　④ 吉野ヶ里遺跡

12 縄文土器にくらべて薄手でかたく、赤みを帯びた、弥生時代の土器を何という？
① 縄文土器　② 弥生土器　③ 土師器　④ 須恵器

13 金印が作られた紀元1世紀頃、地中海を中心に繁栄していた当時の巨大な帝国を何という？
① ローマ帝国　② クシャーナ朝　③ マケドニア王国　④ パルティア

14 57年に奴国の使者が訪れ、金印を授けたとされる後漢の皇帝を何という？
① 桓霊　② 文帝　③ 光武帝　④ 献帝

15 縄文土器と比べて薄く作られ、煮炊きに適していたのはどのような温度で焼かれたから？
① 乾燥　② 多湿　③ 低湿　④ 高温

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「弥生時代」のプリント一覧がひらきます

答え合わせ・解説 No.6 弥生時代

言えた　／15

① 隠す
赤シートで赤字を隠す。白黒なら右の列を折る

② 言う
解説を読んで、用語を口に出す

③ 印を付ける
言えたら□にチェック

問	解説 ▼ここで折る	答え	言えた
1	後漢の光武帝から授けられたとされる「漢委奴国王」の金印は、江戸時代、福岡県の**志賀島**で農作業中に偶然発見されたと伝えられています。	4 志賀島	□
2	魏の歴史をまとめた『魏志』のうち、東夷伝という章に倭人に関する記述があり、一般に『**魏志倭人伝**』と呼ばれます。	1 魏志倭人伝	□
3	『**後漢書**』は、後漢時代の出来事をまとめた中国の歴史書です。	3 後漢書	□
4	**銅鐸**は青銅製の釣鐘状の道具で、当初は小型でしたが、次第に大型化しました。	2 銅鐸	□
5	当時の日本は「百余りの**小国**」に分かれていたと『後漢書』などに記されています。	4 小国	□
6	**吉野ヶ里遺跡**は、周囲に深い堀（環濠）を巡らせ、外敵の侵入を防ぐ構造を持つ大規模な集落跡です。	3 吉野ヶ里遺跡	□
7	銅鐸は、このような**祭り**の場で、神聖な音を出したり、掲げられたりすることで、人々を統率し豊作を祈るために使われました。	1 祭り	□
8	**朝貢**は、中国の皇帝に対して周辺諸国の支配者が使者を派遣し、贈り物（貢ぎ物）を差し出す外交儀礼です。	2 朝貢	□
9	鉄は青銅よりも硬く丈夫であるため、刃先として農具（鋤・鍬）や武器（剣・矛・鏃）などに加工されました。	3 鉄器	□
10	**卑弥呼**は「鬼道」と呼ばれる呪術を用いて人々を統治した女王です。	1 卑弥呼	□
11	**吉野ヶ里遺跡**は、周囲に二重の環濠と柵をめぐらせた巨大な集落跡です。	4 吉野ヶ里遺跡	□
12		2 弥生土器	□
13	**ローマ帝国**は、地中海沿岸の全域を支配下に置き、高度な法整備や道路網、水道技術などを有していました。	1 ローマ帝国	□
14	**光武帝**は、57年に九州の奴国から訪れた使者に対し、朝貢の返礼として金印を授けました。	3 光武帝	□
15	**高温**で焼くことで強度が上がり、煮炊きに適した薄い土器を大量に作ることができました。	4 高温	□

言えなかった用語ノート